

令和 4 年度 介護人材の確保・定着に向けた事業計画（案）

本市では、介護人材の確保・定着に係るプロジェクト会議を平成 28 年度に立ち上げ、平成 29 年度から令和 3 年度までの 4 年間に介護業界全体のイメージアップに向けた取組や介護人材の確保・定着に向けた様々な取組を実施してきた。

特に令和 2 年度から次期介護保険事業計画の最終年度となる令和 5 年度までの 4 年間は、本市における介護人材確保・定着施策の集中実施期間に位置づけ、各種施策を推進し、将来的に質の高い安定した介護サービスを供給していくための体制づくりを進めていく。

取組内容	事業名	R 3 予算額	R 4 要求額	比較
Ⅰ. イメージアップに向けた取組	1. ホームページによる情報発信	557	590	33
	2. 外国人向け介護の仕事理解促進	160	50	△110
	小 計	717	640	△77
Ⅱ. 人材定着に向けた取組	1. キャリアアップ研修会	0	332	332
	2. 若手職員交流推進事業	200	200	0
	3 管理者等向け研修会	200	200	0
	4. 他事業所のいいところ発見！見学会	176	176	0
	小 計	576	908	332
Ⅲ. 人材確保に向けた取組	1. 介護の職場見学会	124	124	0
	2. 介護の入門的研修	856	500	△356
	3. 介護の基礎的講座開催	10	150	140
	4. 介護人材育成支援事業補助金	500	800	300
	5. 外国人介護人材受入れ支援事業	94	94	0
	6. 介護分野への元気高齢者等参入促進	—	—	0
	小 計	1,584	1,668	84
Ⅳ. プロジェクト会議開催	1. 会議開催経費	136	136	0
	2. アンケート調査の実施	0	500	500
	小 計	136	636	500
合 計		3,013	3,852	839
【県補助額】 総事業費－対象外経費 238 千円) × 3/4 上限額 2,500 千円		2,081	2,500	

県補助金名：保険者等による福祉介護人材確保・定着促進事業費補助金

対象外経費：238 千円（ホームページ保守管理委託料）

I. イメージアップに向けた取組

1. ホームページ IZUMO KAIGO LIVE!による情報発信

介護現場や介護を目指す学生・保護者・教員を含めた多様な年齢層に向けて介護の魅力を発信し、介護業界のイメージアップを図り、介護職場への就業促進及び定着化につなげる。

- (1)内容
- ・今まで掲載した記事のうち、著名人へのインタビュー記事記事へのアクセスが多いため、今後もインタビュー記事を掲載する。
 - ・座談会、本市の取組紹介や介護に関連するイベント情報等を掲載する。
 - ・市公式 Facebook にホームページ記事掲載についての投稿をするようにしたところアクセスが増えたため、市公式 SNS の活用も継続する。

(2)経費

①委託料（コンテンツ作成委託）	352 千円
・インタビュー記事追加（80 千円×1.1×3 回）	264 千円
・座談会記事追加（@80 千円×1.1×1 回）	88 千円
②システム保守管理料（@18 千円×12 月×1.1）	238 千円

【事業費 590 千円】

2. 外国人向け介護の仕事理解促進

本市在住外国人に対し、中学校卒業後の進路又は未就労者に「介護」を就労先として選択していただけるよう、介護の仕事について理解促進を図ることを目的とした『外国人向け介護の仕事理解促進イベント』を開催する。

- (1)内容
- ・例年実施される、産業政策課主催の「外国人住民向け合同企業説明会」の事業所への周知を行う。
 - ・介護をPRするチラシを作成し配布する。
 - ・介護現場で働く外国人に仕事内容を話していただくトークイベントや介護サービス事業所PR（仕事内容の説明や研修制度等）、介護事業所とのマッチングを検討する。

(2)経費

・需用費（PR チラシ印刷製本）	50 千円
------------------	-------

【事業費 50 千円】

Ⅱ. 介護人材の定着に向けた取組

1. キャリアアップ研修会の開催

介護事業所の中堅職員向けの研修会を開催し、人材育成を含めた職場環境の改善、マネジメント能力の向上、サービスの質の向上を図る。

また、医療的ケア・認知症ケア等の専門的な知識・技術習得や多職種協働のため必要となる知識習得のための研修会を開催し、介護人材の質の向上を図る。

- (1)内容 ・BCP策定、感染症対策、災害対応等など（未確定）
・開催回数は5回。講師は保健所職員、消防署職員等を想定。

(2)経費

- ・委託経費 330千円
・講師用お茶代等（300円×5回） 2千円

【事業費 332千円】

2. 若手職員交流推進事業

若手職員（経験年数概ね3年未満）が一堂に会し、介護事業所を超えた職員同士のネットワークを構築するとともに、介護職の魅力を再確認するなどの取組を推進することにより、若手介護人材の離職を防止し、職場定着を図る。

- (1)内容 ・入所時のネットワーク構築のため、合同入職式の実施、先輩職員との交流会の実施や入所3年程度の若手職員のネットワーク構築のため、介護技術コンテストの実施や介護事業所を超えた交流会の実施
・開催回数（年4回）
・介サビ連青年部への委託を想定。

(2)経費

- ・委託料（@50千円×4回） 200千円

【事業費 200千円】

3. 管理者等向け研修会の開催

経営者・施設長・管理者等を対象として、雇用管理改善普及・促進に関する研修会を年1回程度開催する。（経営者向け研修から名称変更）

- (1)内容 マネジメント管理、事業連携・経営統合、女性にとって働きやすい環境についてなど（未確定）

- (2)経費 講師謝金等（200千円×1回） 200千円

【事業費 200千円】

4. 他事業所のいいところ発見！見学会の開催

互いに所属する事業所外の施設を見学することで、新たな発見や気づきにより、自施設でのサービスを見直すきっかけとなり、さらなるサービスの質の向上につなげる。

- (1)内容
- ・他事業所の見学会、意見交換、結果報告
 - ・市内事業所に周知を行い、他施設職員の見学受け入れ可能な施設・事業所及び、他事業所への見学を希望する職員を募集する。
 - ・見学会参加者に対して、アンケート調査等を行う。
 - ・開催回数（年2回）

(2)経費

委託料（HP記事作成）@80,000円×1.1×2回 176千円

【事業費 176千円】

Ⅲ. 介護人材の確保に向けた取組

1. 介護の職場見学会（模擬授業体験会）の開催

将来の担い手となる若者（中学生・高校生）、保護者、教員向け及び地域の主婦層、中高年齢者向けに介護施設見学や介護福祉士養成校での模擬授業体験会を開催する。

- (1)内容
- ・開催回数（年2回：8月、10月頃）

(2)経費

- ・受入れ事業所謝金（5千円×2事業所×2回） 20千円
- ・養成校謝金（10千円×2回） 20千円
- ・チラシ印刷代（37,800円×1.1×2回） 84千円

【事業費 124千円】

2. 介護助手を輩出するための介護の入門的研修の開催

介護未経験者の介護分野への参入のきっかけを作るとともに、介護分野で働く際の不安を払拭するため、介護に関する入門的な知識・技術を習得するための「介護の入門的研修」を実施し、研修修了後に介護施設等とのマッチングを行う。

- (1)内容
- 介護の職場に就業希望の方を対象とした21時間研修を実施する。
 - ・開催回数（年1回）
 - ・定員20名程度

(2)経費 委託料 500千円

【事業費 500千円】

3. 中学生向け介護の基礎的講座の開催

中学校学習指導要領の改訂により、今後「技術・家庭科」で介護など高齢者との関わりを実践的に学ぶことが規定され、令和3年度から完全実施している。

市内の介護職員を市内中学校に講師として派遣し、介護学習を効果的に実施する「介護の基礎的講座」を市内中学校で体系的に実施することを通じて、未来の担い手づくりにつなげる。

(1)内容 ・市内中学校を対象に介護の基礎的講座（座学・体験授業）を開催する。

- ・講師は、各団体・事業所から約50名登録済。
- ・市社協が申込先となり、申込校及び講師との連絡調整を実施。
- ・申込校の費用負担なし。講座に必要なテキスト等は提供する。
- ・実施目標7～8校（令和3年度実施数 6校）
- ・実施した内容をホームページ等で周知する。

(2)経費

スタッフ謝金	150千円
【事業費 150千円】	

4. 介護人材育成支援事業補助金

介護サービス事業所における介護従事者の資質向上を図り、介護人材の確保及び育成を推進するため、「介護職員初任者研修」又は「実務者研修」修了者に対し、受講料及び教材費の一部を補助する。

(1)内容 ①次の研修受講費用の1/2を補助する。（上限50,000円）

- ・介護職員初任者研修
- ・実務者研修

②補助対象者（次のいずれかの要件を満たす人）

- ・上記研修の修了後、市内介護サービス事業所に3か月以上継続して勤務している人
- ・研修の修了後6か月以内に、市内介護サービス事業所に就労し、3か月以上継続して勤務している人

※令和3年度申請実績（令和3年12月末時点）18件603,300円

(2)経費

補助金（上限50千円×16名）	800千円
【事業費 800千円】	

5. 外国人介護人材受入れ支援事業

市内介護事業所向けに外国人人材受入れ環境整備を推進することを目的としたセミナーを開催する。

- (1)内容 外国人人材の受入れ体制の構築について
実際に、外国人介護職員を雇用している事業所による事例発表。
・開催回数（年1回）

(2)経費

- | | |
|------|------|
| ・報償費 | 80千円 |
| ・需用費 | 14千円 |

【事業費 94千円】

IV. プロジェクト会議開催

1. 会議開催経費

介護職場における人材の確保・定着を図り、将来的に質の高い安定した介護サービスを供給していくために必要な取組を検討する介護人材の確保・定着に係るプロジェクト会議を開催する。

(1)内容 プロジェクト会議の開催経費

- ・年2回開催し、次に掲げる事項について協議検討する。
 - ①介護人材確保・定着に関する実態把握及び課題の整理
 - ②介護人材の確保・定着に向けた取組
 - ③その他会議が必要と認める事項

- (2)経費
- | | |
|------------------------|-------|
| ・委員謝金 (@3,110円×16人×2回) | 100千円 |
| ・委員旅費 (@1,000円×16人×2回) | 32千円 |
| ・お茶代 (@90円×21人×2回) | 4千円 |

【事業費 136千円】

2. 介護人材確保・定着に係る施策に関するアンケート調査の実施

市内介護サービス事業所における介護従業者の実態把握や行政に期待したい支援策を問うアンケート調査を実施する。

- (1)内容 令和元年度から実施している、市内全ての介護サービス事業所を対象としたアンケート調査を継続して実施し、推移の検証を行う。
・調査方法:市内介護サービス事業所に調査依頼し、回答を求める。

(2)経費

- | | |
|-----|-------|
| 委託料 | 500千円 |
|-----|-------|

【事業費 500千円】